

経営比較分析表（令和6年度決算）

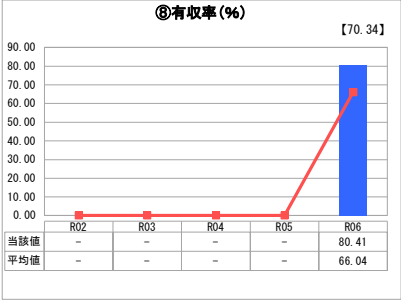
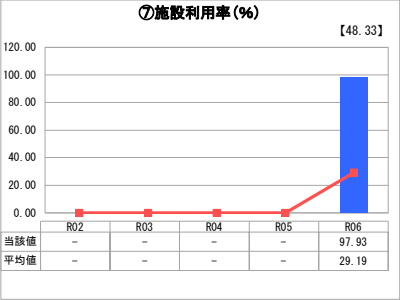
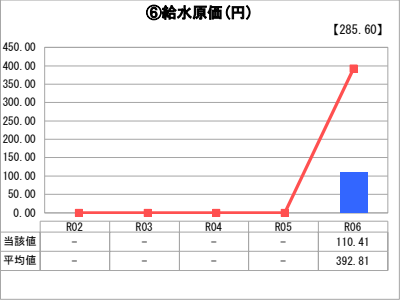
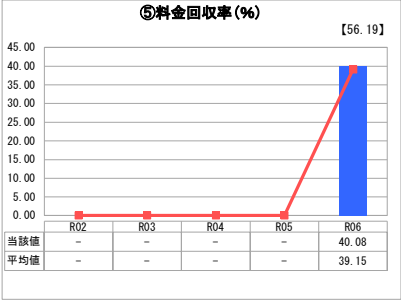
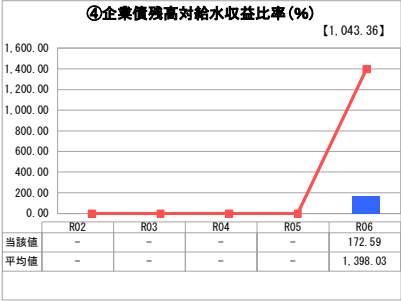
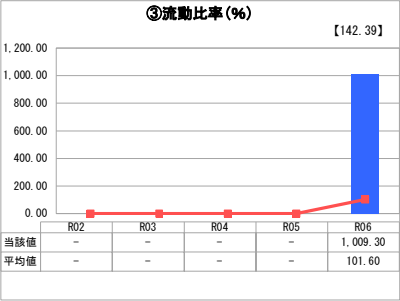
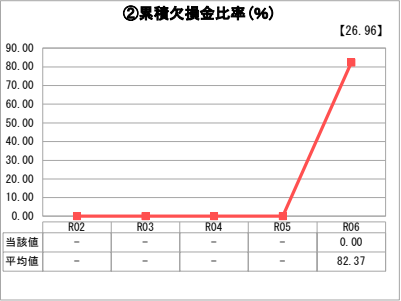
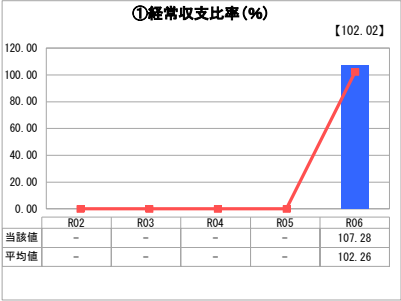
群馬県 上野村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)	
-	95.67	57.11	1,220	

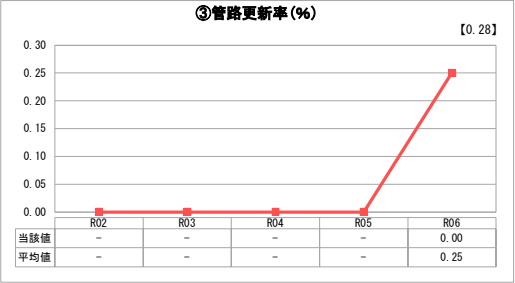
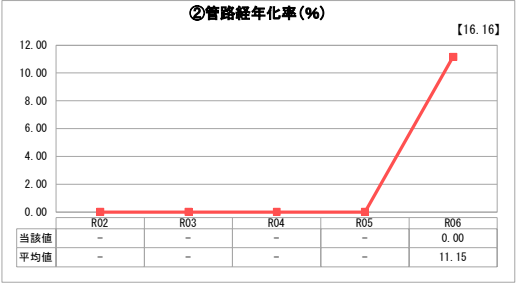
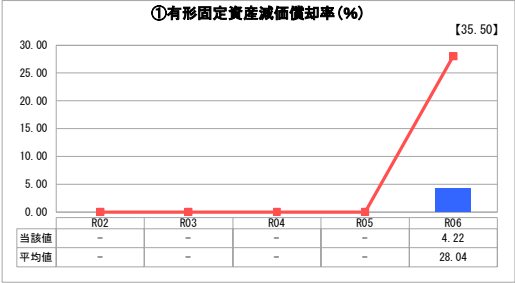
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,011	181.85	5.56
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
570	19.30	29.53

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①水道使用料と一般会計からの繰入金により、100%を超えた数値となっているが、繰入金の割合が大きい。今後、繰入金の削減や未収徴収対策を行う必要がある。  
②該当はなく、今後も0%の継続に努める。  
③全国平均と比較しても、高水準となっている。今後、流動資産が減少傾向とならないよう経費削減等行っていく。  
④近年は施設の大規模改修や新設を行っており、企業債残高が少額のため比率が低くなっている。  
⑤徴収対策の取組が必要となっている。公営企業会計に移行し、年度末の未収金の影響が考えられる。  
⑥全国平均、類似団体平均と比較しても、低い数値となっているが、今後数値の変化を注視していく必要がある。  
⑦施設利用率は高水準で安定しており、適正な施設規模と判断できる。  
⑧冬期間の気温が低い地域であるが、水道管の破損など大規模改修が少なく、有収率が増加した。施設の老朽化対策は、検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

近年は破裂等の対応が主であったが、その対応箇所とともに今後は、周辺管路の更新を少しずつ行っていく必要がある。施設の老朽化も懸念されており、今後は計画的な更新更新を目指していく。

全体総括

公営企業会計移行に伴い、前年度と安易な比較は出来ないが、安定している状況と判断できる。経費削減を検討し、繰入金の減額に努め、健全で安定した運営を目指す。  
今後、施設の更新が発生すると見込まれるため計画的な更新改修等の検討、実施を行う必要がある。また、健全な運営には料金水準の適正化への取り組みが必要であるが、住民サービスの低下を招かないよう配慮する必要もある。